

神戸国際大学（日本語応用論-毛丹青教授）2012（平成24）6月11日
「大阪の弁護士 坂和章平が語る中国映画あれこれ」
～ 『名作映画から学ぶ「生きるヒント」がいっぱい!』の
中国語版出版に向けて
弁護士 坂和章平

<はじめに 弁護士坂和章平プロフィール>

事務所：〒530-0047

大阪市北区西天満3丁目4番6号

西天満コートビル3階

坂和総合法律事務所：Tel.06-6364-5871

Fax.06-6364-5820

メールアドレス：s-sakawa@sakawa-lawoffice.gr.jp

1. ホームページ

<http://www.sakawa-lawoffice.gr.jp>

1949年1月 愛媛県松山市に生まれる

1971年3月 大阪大学法学部卒業

1972年4月 司法修習生（26期）

1974年4月 弁護士登録（大阪弁護士会）

1979年7月 坂和章平法律事務所開設

（後 坂和総合法律事務所に改称）現在に至る

2. 受賞

2001年5月 日本都市計画学会「石川賞」

日本不動産学会「実務著作賞」

3. 都市問題に関する主な著書（1985～2007年）

『実況中継 まちづくりの法と政策』1～4ほか多数

4. 映画評論に関する著書

『SHOW HEYシネマルーム』1～28

5. その他の実務書 多数

6. 主な判決

まちづくり

阿倍野再開発訴訟

津山再開発訴訟 等々

<第1部 坂和的映画論の特徴>

第1 坂和と映画

1. 自己紹介

1949（昭和24）年 愛媛県松山市生まれ（団塊世代）
 中・高一貫受験 男子校、学生運動、
 司法試験、公害訴訟（10年）、都市再開発・まち
 づくり（23年間）、都市法政策 出版・講義、
 映画評論、旅行記（2000年～2012年
 中国へ10回以上）

2. 坂和と映画

(1) 小学時代（1955～61年）

東映チャンバラ映画、『にあんちゃん』（59年）

(2) 中学・高校時代（1961～67年）

3本立て55円（洋画+日活）

学校推薦（『ベン・ハー』など） 試写会時々

(3) 大学時代（1967～71年）

時々、名画座系（3本立て150円?）

日活ロマンポルノ

(5) 超多忙時代（1974年から）

深夜映画+ビデオ数台（年末年始）

(6) 自社ビル移転、ホームページ開設（2000～12年）

映画評論執筆開始 試写室通い

多い時は年間300本、『シネマ1～28』出版

・『シネマルーム17』 中国映画83本

・『シネマルーム17』以降 中国映画63本

(7) 映画検定 キネマ旬報社・キネマ旬報映画総合研究

所主催

・『「映画検定」公式テキストブック』

・『「映画検定」公式問題集』

・4級合格（06年7月）

・3級合格（07年1月）

3. 私の1本・私のベスト5

(1) 私の1本 『サウンド・オブ・ミュージック』（高3）

(2) 私のベスト5

洋画

『風と共に去りぬ』（39年）

『ウエスト・サイド物語』（61年）

『卒業』（67年）

『太陽がいっぱい』（59年）

『さらば、わが愛/霸王別姫』（93年）

邦画

『砂の器』（74年）

『幸福の黄色いハンカチ』（77年）

『人間の条件』（59～61年）

『蒲田行進曲』（82年）

『誰も知らない』（04年）

4. 私の愛読書

(1) 昔『スクリーン』『映画の友』

今『週刊20世紀シネマ館』50冊+別巻10冊

『キネマ旬報』

(2) 参考書 『中国映画の明星』

『中国映画の明星 女優編』

（石子順・03年・平凡社）

『中国映画の全貌2000』

『オールタイム・ベスト世界遺産200

（外国映画篇）』

『オールタイム・ベスト世界遺産200

（日本映画篇）』

『戦後キネマ旬報ベスト・テン全史

1946～2002』

(3) 私の夢『坂和流シネマと法律』の出版

5. 坂和的映画論

- (1) なぜ映画が面白いのか？
人間の本性に迫る、人生の縮図、知らないことを体験、歴史や恋愛の勉強、夢と希望、元気の素
 - (2) なぜ映画評論を書くか
書かないと忘れる、書くことによって感動を記録、他者との議論のネタ、読者にも夢と希望と元気を与える
 - (3) 何が好きか？
人それぞれ、必ず好きなジャンルあり
 - (4) 映画評論の何が面白いのか？
映画の話題は老若男女に共通
人間の本性に早く迫れる。本性が早く見れる、異なる意見、見方、感性を知る
 - (5) こだわりがわかる！
私のこだわりは？ あなたのこだわりは？
面白い人がたくさん・・・
6. 坂和の映画評論の特徴（ユニーク性）
- (1) 弁護士の視点
法廷のあり方、各種の法律上のテーマ
その他（危機管理のシステム）
 - (2) 都市法政策の講義、都市問題の実践からみる視点
都市・住宅政策、公害
 - (3) 歴史大好き人間の視点
中国、韓国、ヨーロッパ中世
 - (4) 文学大好き
シェイクスピア
 - (5) 戦争映画検討の視点
 - (6) 日本人論追及の視点（西欧や中国との対比）
 - (7) 恋愛大好き、ピュアな少年の視点（？）
 - (8) エロおやじの視点
 - (9) 時事問題検討の視点

<第2部 坂和的中国映画論（総論）>

第1 中国電影100年（坂和流まとめ）

- 1. 中国の近代史
 - (1) 清時代 『阿片戦争（鴉片戦争）』（97年）
日清戦争（1894～95年）
日露戦争（1904～95年）
 - (2) 孫文の時代 『宋家の三姉妹』（97年）
『孫文の義士団（十月圍城）』（09年）
『1911』（11年）
- 辛亥革命
1905年8月 「中国同盟会」発足
1912年1月1日 孫文を臨時大統領に選出
革命政府樹立
- (3) 日中戦争（抗日戦争）の時代（1928～45年）
- (4) 国共内紛時代（1945～49年）
- (5) 新中国建設（1949年～）
- (6) 文化大革命 下放政策（1966～76年）

- (7) 北京電影学院再開（1978年）
 - (8) 改革開放政策（1978年～）
 - (9) 天安門事件（1989年）
 - (10) 高度経済成長（后80）
 - (11) 北京オリンピック（2008年）
 - (12) 上海万博（2010年）
 - (13) まとめ
毛沢東（1949年～） 鄧小平（1978年～）
江沢民（1989年～） 胡錦濤（2003年～）
習近平（2012年～）
2. 中国映画100年
- (1) 1905年 ドキュメンタリー映画上映
京劇の演目『定軍山』を記録したもの
それから100年
「中国映画博物館」建設（2006年）
 - (2) 1949年10月1日まで
反日・抗日映画のオンパレード
 - (3) 1949年10月1日以降
改革開放政策が本格化した1980年代前半に
大きな契機
3. 日中国交回復と中国映画の日本への導入
- (1) 日中国交回復（1972年9月29日）
田中角栄+周恩来
 - (2) 第1回中国映画祭（1978年）
 - (3) 中国映画祭（1988年）
（株）徳間書店東光徳間事業部
第5世代監督の映画紹介
 - (4) 中国映画祭（1995年）
 - (5) 中国映画祭（1997年）
 - (6) 中国映画祭（2000年）
 - (7) 中国映画の全貌（2004年）
4. 1997年香港返還
- (1) 返還までの香港映画 香港は全く別、イギリス圏
活発
 - (2) 返還以降の香港映画 合流
 - (3) 10年を経過した2007年の香港映画
『インファナル・アフエア』3部作
5. 台湾をめぐる情勢
- (1) 国共対立（1945～49年）
 - (2) 2・28事件（1947年2月28日）
『悲情城市』（89年）
戦後中国から台湾に渡ってきた外省人である国民党
が、戦前から台湾に住んでいた住民（本省人）たち
の抗議運動に対して武力で弾圧した
 - (3) 蒋介石台湾へ（1949年12月）
 - (4) 国民党VS民政党 2つの中国をどう考える？
台湾の独立問題

第2 中国電影100年

(朝日新聞まとめ 06年6月14、15日)

資料 1、2、3

上：文革の影 銀幕に今も

政治の風 節目の年も挑戦少なく

中：第5世代 「社会主義賛美」脱ぎ捨て

下：解放の波 盛況の足下 責める外資

第3 中国電影100年(佐藤忠男まとめ(06年))

資料 4

『中国映画の100年』(佐藤忠男・06年・二玄社)

目次より

第1 日中戦争までの中国映画の歩み

第2 一九三〇年代の諸作品

第3 上海の「孤島」の消滅から日中戦争の終結まで

第4 中華人民共和国の成立まで

第5 中華人民共和国の初期の映画

第6 文化大革命とその直後の中国映画

第7 文化大革命からの回復期

第8 第五世代の確信

第9 新しい世代が見せる新鮮な生活感覚

第10 一九九〇年代以後

第11 香港映画

第12 台湾映画

第4 坂和が鑑賞した中国映画 計約230本

1. 『シネマルーム5』 66本 資料 5

2. 『シネマルーム17』 83本 資料 6

3. 『シネマルーム18』以降 63本 資料 7

第5 陳凱歌、張藝謀(第5世代監督)の果たした役割と『黄色い大地』(84年)と『紅いコーリャン』(87年)の意義

1. 陳凱歌(チェン・カイコー)監督の『黄色い大地』(84年)によってチャイニーズ・ニューウェーブが全世界に!

2. 北京電影学院の果たした役割(1978年再開)

3. 第5世代監督の作品の特徴と歴史的意義

(1) 中国独自の文化、力強さ

陳凱歌監督 『黄色い大地』(84年)

張藝謀監督 『紅いコーリャン(紅高粱)』(87年)『紅夢』(91年)『菊豆(チュイトウ)』(90年)

(2) 中国の歴史(古代、近代史)

陳凱歌監督 『さらば、わが愛/霸王別姫』(93年)

『始皇帝暗殺』(98年)

張藝謀監督 『生きる』(94年)

4. いかにも中国的な心温まる物語

しあわせ3部作

『あの子を探して(一個都不能少)』(99年)『初恋のき

た道(我的父親母親)』(00年)『至福のとき(幸福時光)』(02年)

『北京ヴァイオリン』(02年)

5. ハリウッド進出の功罪

陳凱歌監督 『PROMISE』(05年)から

張藝謀監督 『HERO(英雄)』(02年)

『LOVERS(十面埋伏)』(04年)から

6. 近時の陳凱歌をどうみる?

『花の生涯~梅蘭芳~』(08年)

『運命の子(趙氏孤兒)』(10年)

7. 近時の張藝謀をどうみる?

『王妃の紋章(滿城尽帶黄金甲)』(07年)

『サンザシの樹の下で(山楂樹之戀)』(10年)

『金陵十三釵』(11年)

第6 陳凱歌、張藝謀以外の中国映画の監督たち

1. 第5世代以前の監督たち

(1) 吳天明(ウー・ティエン・ミン)

『古井戸(老井)』(87年)『變臉 この權に手をそえて』(96年)『CEO』(02年)

(2) 謝晋(シエ・チン)

『芙蓉鎮』(87年)『乳泉村の子(清涼寺鐘聲)』(91年)『阿片戦争(鴉片戦争)』(97年)

2. 凱歌、張藝謀以外の第5世代監督たち

(1) 田壮壮(ティエン・チュアンチュアン)

『狩り場の掟(獵場札撒)』(85年)

『青い凧(藍風箏)』(93年)『春の惑い』(02年)

『吳清源 極みの棋譜』(06年)

(2) 劉苗苗(リウ・ミアオミアオ)

『朱家の悲劇(家丑)』(94年)

(3) 胡玫(フー・メイ)『孔子の教え』(09年)

3. その他の特徴ある有名監督たちの独自路線は?

(1) 霍建起(フオ・ジェンチイ)

(中国の山田洋次監督)

『山の郵便配達』(99年)『故郷の香り』(03年)

『シヨンヤンの酒家』(03年)『初恋の思い出(情人結)』(05年)『台北に舞う雪~Snowfall in Taipei』(09年)

(2) 馮小剛(フォン・シャオガン)

『ハッピー・ヒューネラル(大腕)』(01年)『イノセントワールド 天下無賊』(04年)『女帝 エンペラー(夜宴)』(06年)『戦場のレクイエム(集結號)』(07年)

(3) 何平(フー・ピン)

『哀戀花火(炮打雙燈)』(93年)

『ヘブン・アンド・アース(天地英雄)』(03年)

(4) 姜文(チアン・ウエン)

『太陽の少年(陽光燦爛的日子)』(94年)『鬼が来た!』(鬼子來了)』(00年)

- (5) 北京電影学院卒の才女、徐静蕾 (シュー・ジンレイ)
『我愛你』(03年)『見知らぬ女からの手紙 (一个陌生
女人的来信)』(04年)

第7 第6世代監督とその役割

- 第6世代監督の意義 第5世代監督との違い
- 第6世代監督とその作品
 - 賈樟柯 (ジャ・ジャンクー)
 - 『一瞬の夢 (小武)』(97年)『プラットホーム (站台)』(00年)『青の稲妻 (任逍遥)』(02年)
 - 『世界』(04年)『長江哀歌 (三峡好人)』(06年)
 - 『四川のうた (二十四城記)』(08年)
 - 張楊 (チャン・ヤン)
 - 『胡同 (フートン) のひまわり (向日葵)』(05年)
 - 張元 (チャン・ユアン)
 - 『ただいま (過年回家)』(99年)
 - 『緑茶』(02年)『我愛你』(03年)
 - 婁燁 (ロウ・イエ)
 - 『ふたりの人魚』(00年)『パープル・バタフライ (紫蝴蝶)』(03年)『天安門、恋人たち (頤和園)』(06年)
 - 『スプリング・フィーバー (春風沈醉的晚上)』(09年)
 - 戴思杰 (ダイ・シージエ)
 - 『小さな中国のお針子』(02年)『中国の植物学者の娘たち (植物学家的中国女孩)』(05年)
 - 王兵 (ワン・ピン)
 - 『鉄西区 (Tie Xi Qu / West of Tracks)』(03年)『無言歌 (夾辺溝)』(10年)
 - 陸川 (ルー・チューアン)
 - 『ミッシング・ガン』(01年)『ココシリ』(04年)
 - 章明 (チャン・ミン)
 - 『沈む街 (巫山云雨)』(96年)『週末の出来事』(01年)
- 第6世代監督の映画祭受賞と検閲

第8 香港映画の果たした役割

- 香港映画が果たした役割
 - 1990年代初等から名作続出
- 香港からハリウッドへ進出して大成功した監督と俳優
 - 成龍 (ジャッキー・チェン) (監督と俳優両方)
 - 吳宇森 (ジョン・ウー) 『フェイス/オフ』(97年) (監督) 『レッドクリフ Part 』(08年) 『レッドクリフ Part 』(09年)
 - 李安 (アン・リー) 『グリーン・デスティニー (臥虎藏龍)』(00年) (監督)
 - 周潤發 (チョウ・ユンファ) 『アンナと王様』(99年) 『グリーン・デスティニー (臥虎藏龍)』(00年) 『王妃の紋章 (滿城尽帶黄金甲)』(06年) 『パイレーツ・オブ・カリビアン / ワールド・エンド』(07年) 『孔子の教え』(10年) 『シャンハイ』(10年)

3. 香港映画の特徴ある監督たち

- 徐克 (ツイ・ハーク)
 - 『ワンズ・アポン・ア・タイム・イン・チャイナ』(91年) 『SEVEN SWORDS セブンソード (七剣)』(05年) 『王朝の陰謀 判事ディーと人体発火怪奇事件 (狄仁杰之通天帝国)』(10年)
- 成龍 (ジャッキー・チェン)
 - 『酔拳』(78年)から『1911』(11年)まで100本出演99本目『新少林寺』(11年)
- 王家衛 (ウォン・カーウアイ)
 - 『欲望の翼 (阿飛正傳)』(90年) 『恋する惑星 (重慶森林)』(94年) 『楽園の瑕 (キズ) (東邪西毒)』(94年) 『ブエノスアイレス (春光乍洩)』(97年) 『花様年華』(00年) 『2046』(04年)
- 李安 (アン・リー)
 - 『グリーン・デスティニー (臥虎藏龍)』(00年) 『ラスト、コーション (色、戒)』(07年)
- 吳宇森 (ジョン・ウー)
 - 『男たちの挽歌』(86年) 『フェイス/オフ』(97年) 『レッドクリフ Part 』(08年) 『レッドクリフ Part 』(09年)
- 陳果 (フルーツ・チャン)
 - 『メイド・イン・ホンコン (香港製造)』(97年) 『ドリアン・ドリアン』(00年) 『ハリウッド ホンコン (香港有個荷里活)』(01年)
- 程小東 (チン・シウトウ)
 - 『チャイニーズ・ゴースト・ストーリー (倩女幽魂)』(87年) 『テラコッタ・ウォリア 秦俑』(89年) 『レディ・ウェポン (赤裸特工)』(02年) 『エンプレス - 運命の戦い - (江山美人)』(08年)
- 杜琪峰 (ジョニー・トー)
 - 『ターンレフト ターンライト (向左走・向右走)』(03年) 『柔道龍虎房』(04年) 『エレクション (黒社會)』(05年) 『僕は君のために蝶になる (蝴蝶飛)』(07年) 『冷たい雨に撃て、約束の銃弾を』(09年)
- 張婉婷 (メイベル・チャン) 『宗家の三姉妹』(97年)

第9 台湾映画の果たした役割

- 大陸との異同は?
- 台湾映画の特徴ある監督たち
 - 侯孝賢 (ホウ・シャオシェン)
 - 『非情城市』(89年) 『百年恋歌 (最好的時光)』(05年)
 - 蔡明亮 (ツァイ・ミンリャン)
 - 『楽日 (不散)』(03年) 『西瓜 (天一雲)』(05年)
 - 陳可辛 (ピーター・チャン)
 - 『ラヴソング』(96年) 『ウィンターソング』(05年) 『ウォーロード / 男たちの誓い (投名状)』(07年) 『捜査官X (武俠)』(11年)
 - 周杰倫 (ジェイ・チョウ)

『言えないヒミツ(不能説的・秘密)』(07年)

第10 中国映画にみる論点(坂和的問題提起)

1. 文化大革命をどう考える?
2. 下放政策をどう考える?
3. 中国土地バブルをどう考える?
4. 都市問題 再開発をどう考える?
5. 民族問題をどう考える?
6. ドキュメンタリー映画をどう考える?
7. 日中戦争をどう考える?
8. メディアの管理体制と検閲をどう考える?

第11 中国で大ヒットした邦画と日本人スター

参考:『中国10億人の日本映画熱愛史』

(劉文兵・06年・集英社) 資料8

- 『君よ憤怒の河を渉れ』(76年) 高倉健、中野良子
『愛と死』(71年)『サンダカン八番娼館 望郷』
(74年) 栗原小巻
『絶唱』(75年)『風立ちぬ』(76年)
『霧の旗』(77年) 山口百恵
・山口百恵『赤い疑惑』が84年からTV放映、以降『赤い』
シリーズが大人気

第12 アジア映画というくり方

参考:『私はなぜアジアの映画を見つづけるのか』

(佐藤忠男・06年・平凡社) 資料9

『アジア映画』(四方田犬彦・03年・作品社)

1. 韓国映画の面白さ
これだけで大論文になるため今回は省略
ただし金基徳(キム・ギドク)監督に注目!
『魚と寝る女』(00年)『受取人不明』(01年)
『悪い男』(01年)『春夏秋冬そして春』(03年)
『サマリア』(04年)『うつせみ』(04年)
『弓』(05年)『絶対の愛』(06年)
『プレス』(07年)『非夢』(09年)
『アリラン』(11年)
2. インド映画のエンタメ性の面白さ
=ボンベイ+ハリウッド ポリウッド
『ムーラン・ルーージュ』(01年)でハリウッドで紹介
『ムトゥ 踊るマハラジャ』(95年)
『ロボット』(10年)
3. タイ映画の面白さ
『マッハ!(MACH)』(03年)
『マッハ! 弐』(08年)
『チョコレート・ファイター』(08年)
(“ジージャ” ヤーニン・ウィサミタナンの
女性アクションのすばらしさ)
4. イランも映画大国
『別離』(11年)アカデミー賞外国語映画大賞
5. その他観たことないアジア映画がいっぱい

e x . ミャンマー
フィリピン
ベトナム

<第3部 坂和的中国映画論(各論)>

第1 中国映画に対する坂和的視点

- (1) 歴史大好き
- (2) きれいな女優大好き
- (3) 旅行大好き
- (4) 活劇モノ大好き

第2 中国映画のジャンル分け

1. 古代歴史(戦争)モノ 『始皇帝暗殺』(98年)『HERO(英雄)』(02年)『女帝 エンペラー(夜宴)』(06年)『三国志』(96年)『三国志英傑伝 関羽(関雲長)』(11年)『ヘブン・アンド・アース(天地英雄)』(03年)『さらば、わが愛/霸王別姫』(93年)『運命の子(趙氏孤児)』(10年)『国姓爺合戦』(01年)『SEVEN SWORDS セブンソード(七剣)』(05年)
2. 近代歴史(戦争)モノ 『宋家の三姉妹』(97年)『活きる』(94年)『阿片戦争(鴉片戦争)』(97年)『1911』(11年)『孫文の義士団(十月圍城)』(09年)
3. 冒険活劇モノ 『レジェンド 三蔵法師の秘宝(天脈傳奇)』(02年)『花都大戦 ツインズ・エフェクト』(04年)
4. ドキュメンタリー映画 『延安の娘』(01年)『蟻の兵隊』(06年)『ココシリ』(04年)
5. 恋愛感動作 『最後の恋、初めての恋(最後の愛、最初の愛)』(03年)『緑茶』(02年)『我愛你』(03年)
6. 人間ドラマ 『山の郵便配達』(99年)『ジャスミンの花開く(茉莉花開)』(04年)『玲玲の電影日記』(04年)『単騎、千里を走る。』(05年)『長江哀歌(三峡好人)』(06年)『海洋天堂』(10年)
7. 企業モノ 『CEO』(02年)
8. 学校モノ 『子供たちの王様』(87年)『草ぶきの学校』(99年)『思い出の夏』(01年)
9. お葬式モノ 『ハッピー・ヒューネラル(大腕)』(01年)『涙女』(02年)
10. バイオリンもの 『小さな中国のお針子』(02年)『北京ヴァイオリン』(02年)
11. いわゆる武侠映画 『スピリット(霍元甲)』(06年)『イップ・マン 葉問』(10年)『捜査官X(武侠)』(11年)

12. これぞ心温まる中国映画! 『幸せの絆(暖春)』(03年) 『キムチを売る女(芒種)』(05年) 『雲南の少女 ルオマの初恋』(02年) 『さくらんぼ 母ときた道(桜桃)』(07年)
13. 政治的問題提起モノ - 『芙蓉鎮』(87年) 『青い靨(藍風箏)』(93年) 『無言歌(夾辺溝)』(10年)

第3 中国映画を法律的論点で分けたら (弁護士の視点)

- 臓器移植 王小帥(ワン・シャオシュア) 『我が愛にゆれる時(左右)』(08年)
- 死刑のあり方 劉杰(リウ・ジエ) 『再生の朝に - ある裁判官の選択 - (透析Judge)』(09年)
- 同性愛
『中国の植物学者の娘たち(植物学家的中国女孩)』(05年)
『スプリング・フィーバー(春風沈酔的晚上)』(09年)
- 幼稚園問題 『小さな赤い花(看上去很美)』(06年)
- 都市開発・まちづくり
『シヨンヤンの酒家』(03年) 『世界』(04年)
『胡同(フートン)のひまわり(向日葵)』(05年)
『長江哀歌(三峡好人)』(06年)
- 住宅問題 『上海家族』(02年)
『ドリーム・ホーム』(10年)
- 正当防衛 『捜査官X(武俠)』(11年)

第4 この映画、あの映画をどう見るか? (坂和的検討の視点)

- 中国映画の代表作(文芸作)をどう見る?
『阿片戦争』(97年) 『芙蓉鎮』(87年) 『朱家の悲劇』(94年)
- 第5世代監督の代表作をどう見る?
『紅いコーリャン』(87年) 『生きる』(94年) 『あの子を探して』(99年) 『初恋のきた道』(00年)
『至福のとき』(02年) 『黄色い大地』(84年) 『さらば、わが愛/霸王別姫』(93年) 『始皇帝暗殺』(98年) 『北京ヴァイオリン』(02年) 『青い靨』(93年) 『呉清原 極みの棋譜』(06年) 『山の郵便配達』(99年) 『故郷の香り』(03年) 『シヨンヤンの酒屋』(03年) など
- 第6世代監督の代表作をどう見る?
『ココシリ』(04年) 『長江哀歌』(06年) 『胡同(フートン)のひまわり』(05年)
- 近時の話題作をどう見る?
(1) 『レッドクリフPart 』(08年)
『レッドクリフPart 』(09年)
(2) 『サンザシの樹の下で(山楂樹之戀)』(10年) と 『金陵十三釵』(11年)
(3) 『超強台風』(08年)

- (4) 『四川のうた(二十四城記)』(08年) と 『無言歌』(10年)
- (5) 『1911』(11年) と 『孫文の義士団(十月圍城)』(09年)
- (6) 『孔子の教え』(09年)
- (7) 三国志(ブーム?)
『三国志(THREE KINGDOMS RESURRECTION OF THE DRAGON)』(08年)
『三国志 第1部 第1~6話』(10年)
『三国志英傑伝 関羽(関雲長)』(11年)
5. 日本で大ヒットした中国映画と中国で大ヒットした邦画をどう見る?
『山の郵便配達』(99年)
『初恋のきた道』(00年)

第5 『名作映画から学ぶ「生きるヒント」 がいっぱい!』とは?

- 『名作映画から学ぶ「生きるヒント」がいっぱい!』(第1~5章)収録50本
- 追加20本

第6章 近時の中国映画からこんなヒントを

- 『超強台風』(08年・中国)
- 『スプリング・フィーバー(春風沈酔的晚上)』(09年・中国、フランス)
- 『再会の食卓(団圓)』(09年・中国)
- 『孫文の義士団(十月圍城)』(09年・中国、香港)
- 『再生の朝に ある裁判官の選択(透析Judge)』(09年・中国)
- 『シャンハイ』(10年・アメリカ)
- 『我が愛にゆれる時(左右)』(08年・中国)
- 『中国娘(中國姑娘)』(09年・イギリス、フランス、ドイツ)
- 『女と銃と荒野の麵屋(三槍拍案驚奇)』(09年・中国)
- 『1911』(11年・中国、香港)
- 『運命の子(趙氏孤兒)』(10年・中国)
- 『捜査官X(武俠)』(11年・香港、中国)
- 『王朝の陰謀 判事ディーと人体発火怪奇事件(狄仁杰之通天帝国)』(10年・中国、香港)

第7章 近時の戦争映画の名作から何を学ぶ

- 『戦場のレクイエム(集結號)』(07年・中国)
- 『キャタピラー』(10年・日本)
- 『戦火の中へ』(10年・韓国)
- 『戦火のナージャ』(10年・ロシア)
- 『一枚のハガキ』(11年・日本)
- 『マイウェイ 12,000キロの真実』(11年・韓国)
- 『戦火の馬』(11年・アメリカ)